

授業科目名	内科学 I		授業形態	講義	配当学期	1年（前期）
担当教員名	山田 真輔		単位数	1単位	時間数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕</p> <p>生命活動を営むには、各器官系が協調的に働く必要があります。仮にいずれかの器官が正常活動から逸脱した場合、人体には様々な症状として現れます。すなわち疾患と症状です。内科疾患を理解するためには、基礎となる解剖生理を理解する必要があります。そのため、本講義では、疾患の学習をする前に、解剖生理の復習から始めます。そして、正常から逸脱した状態を理解した上で、疾患の病態を学んでいきたいと考えております。</p> <p>〔学習目標〕</p> <p>各講義において、2つの学習目標を提示します。それについて、各自がしっかりと説明できるようになってください。</p>					
授業回数	授業内容					
第 1 回	感染症	病原体の種類、感染経路、感染症の症状、と標準予防策				
第 2 回	呼吸器疾患①	換気とガス交換の生理学と、I型呼吸不全・II型呼吸不全				
第 3 回	呼吸器疾患②	換気機能検査と閉塞性換気障害・拘束性換気障害				
第 4 回	呼吸器疾患③	慢性気管支炎、肺気腫、間質性肺炎の病態				
第 5 回	呼吸器疾患④	肺循環の生理学について / 肺血栓塞栓症と肺水腫の病態				
第 6 回	呼吸器疾患⑤	がん総論と肺がんの種類・特徴				
第 7 回	循環器疾患①	心臓の解剖生理と、虚血性心疾患・弁膜症の病態				
第 8 回	循環器疾患②	血圧の生理学と高血圧 / 脈管の解剖とASO・パージャージャー病の				
第 9 回	循環器疾患③	静脈疾患の病態 / 胎児循環と先天性心奇形について				
第 10 回	循環器疾患④	心電図と不整脈の種類				
第 11 回	循環器疾患⑤	慢性心不全の病態・分類・治療方法				
第 12 回	血液疾患①	赤血球の役割と貧血の種類 / 凝固・線溶の生理と出血性疾患				
第 13 回	血液疾患②	白血病の種類と病態、治療方法				
第 14 回	アレルギー疾患	免疫系の生理学と各アレルギー疾患の特徴				
第 15 回	膠原病	全身性エリテマトーデス、多発性筋炎、血管炎症候群の病態				
評価方法	期末試験にて評価を行う。（100％）					
教科書 参考図書	〔教科書〕 なるほどなっとく内科学（南山堂）					
履修上の 留意点	内科学は範囲が広いので、各自得意分野を作り、卒業するまでは仲間同士で、助け合い協力して勉強に励んでください。					
メッセージ	医療人として大切な事は、1つ。優しい心。1つ。たゆまぬ努力による問題解決能力。この2つを車の両輪の様に身につけることです。					